

広報 Koho Gallery
展示室

第33回

- 企画展 -

国貞の世界展—北斎より人気の高かった絵師—

幕末の浮世絵界は黄金期を迎え、役者絵、美人画、風景画などさまざまなジャンルの作品が描かれました。この時期に最も活躍した絵師のひとりが歌川国貞（1786～1864）、のちの三代豊国です。

国貞は江戸本所五ツ目渡し場の亀田屋庄兵衛の子として生まれ、15、16歳の時に初代豊国に入門。早くから画才が認められ、22歳で早くも大判三枚続の作品を制作します。その後、艶のある粋な美人画や斬新で個性的な役者絵を中心に制作し、幕末の浮世絵界を主導しました。

国貞の人気は北斎をしのぐほどで、60年以上の画歴で制作した作品数は数万点とされています。特に、国貞が挿絵を描いた『修紫田舎源氏』（柳亭種彦作 合巻本38編172冊未完）は草双紙界で大きな当たりをとり、歌舞伎や市井のファッションにまで影響を与えました。

また、師豊国の仕事を補佐し、歌川派を斯界での最大勢力に押し上げたことも国貞の功績の一つとしてあげられます。

次回の展覧会は、文化年間（1804～17）～天保（1830～43）中期までの画技が最も円熟した時期の作品を中心に紹介します。幕末浮世絵界の花形絵師国貞が描いた作品をとくにご鑑賞下さい。

那珂川町馬頭広重美術館 学芸員 長井裕子



「風流六玉顔 萩の玉川」歌川国貞 当館所蔵

【会 期】 7月4日（金）～8月3日（日）

【ミュージアムトーク（展示解説）】

7月12日（土）午後1時30分～ 当館学芸員

【ワークショップ】

「押し花教室」講師：荒井昌子氏

7月13日（日）午後1時30分～

【開館時間】 午前9時30分～午後5時まで

（ただし、入館は4時30分まで）

【休館日】 7月7日、14日、22日、28日

【入館料】 大 人 500円（450円）

高・大学生 300円（270円）

小・中学生 100円（90円）

※（ ）は20名以上の団体料金。小学生未満は無料。障害者手帳をお持ちの方・付き添い1名は半額。

ミニギャラリー
作品募集！

あなたの作品をここに展出してみませんか？

絵画、写真、絵手紙などの作品をお待ちしております。

申し込み・問合せ：企画財政課

☎0287-92-1114

船舶禁



ミニ
ギャラリー



盛谷なつみの里のポピー